



マウスピース型矯正治療の進みかた



マウスピース型矯正装置のメリット・デメリット

メリット

- 透明なマウスピースで目立ちにくい
- 食事や歯みがき時に取り外しができるため、食事がしやすく、衛生的。
楽器の演奏時などに外すことができる。
- 舌側のワイヤー矯正にくらべ、発音しやすい。
- 金属アレルギーのかたに対応できる。
- 治療計画のシミュレーションが可能。

デメリット

- まったく見えないわけではない。
- お口の状態により推奨できないケースがある。
- マウスピース装着後に歯の移動にともなう痛みが生じることがある。
- 装着時間が確保できるか否かが患者さん自身にゆだねられ、装着時間が短いと、歯が適正に移動しない。治療が長期化することもある。
- 指示通りに患者さんがマウスピースを交換しないと、歯が適正に移動しない。

マウスピース型矯正治療の流れ



矯正治療のための精密検査

診断・検査結果・治療法の説明

治療計画の決定



マウスピースの完成・受け渡し

定期受診ごとにマウスピースを受け取る場合もあれば、治療終了までのすべてのマウスピースを最初に受け取ることもあり、歯科医院によって異なります。

アタッチメントの装着

アタッチメントとは、歯の表面や裏側に装着する突起です。



ご自宅での装着と定期的な交換

基本的に、毎日22時間以上装着し、2週間に1回交換します。すべてのマウスピースを装着し終わるまでには、2~3年かかります。



定期的に歯科医院を受診

お口・お顔の写真やレントゲンの撮影など、検査を行うことがあります。

追加マウスピースの製作・装着

歯の移動や途中経過を確認し、必要であれば追加のマウスピースを製作します。

全マウスピースの使用終了

保定装置の装着

メンテナンス